

2024. 9. 18 子供の姿を核に語り合う、学び合う

今日は9月の園内研究会がありました。

福井大学連合教職大学院から岸野麻衣先生と宮本雄太先生に来ていただき、午前中の保育参観、午後から研究会をおこないました。

いつも子供の姿から環境、保育者の関わりなどを様々な視点で価値づけしてくださったり、問いを投げかけてくださったりします。園にとってとても学びの深い、貴重な時間になっています。本日の研究会でも、その遊びからどのようなことを経験として出会わせていきたいのか、教師の願いやねらいは何か、改めて問い直しをしていき

ました。また過去の研究会での助言者の先生方からの学びを今の子供たちの姿と照らし合わせ捉えなおすこともご示唆いただきました。

2024 年の 1 月からこの園内研究会と毎月一回金曜日に行っている金曜カンファレンスは「保育の質向上プロジェクト」として外部に開いています。本園では毎年 11 月に研究集会を行っていますが、人数も制限があり、当日参加できない先生とも保育について語り合える場がないものかということで、日ごろ職員だけで行っている二つ研究会を外へ開くことにしました。2024 年 1 月から 9 月までで 8 回実施し、12 園 25 名の先生がご参加されました。県内だけでなく、県外の園の先生もいます。

今日の園内研究会では、高浜町の cocokara の先生が 3 名来てくださいました。その中の一人は昨年度まで一緒に本園で働いていた先生です。昨年度担任していた子供たちが年長になり、久々の再開に子供たちもとても嬉しそうでした。8 月には本園職員の多くが cocokara に視察に行かせていただいております、互いに園に伺い、共に学び合う。このような機会があることもとてもありがたいです。

先週金曜日の金曜カンファレンスにも、他園の先生が 2 名来てくださっています。これらの研究会の外部公開は、年に複数回行っているのも、それぞれの園のタイミングで、気軽に参加していただけることもメリットの一つだと思います。

毎回感想をいただくのですが、職員同士が学年を超えて子供の姿を核に語り合っている姿やそこから新たな気づきやアイデアが出てくる場面、また職員同士で「ここは大事なことだよね」と共有し合う姿などにも良さを感じ取ってくださっているようでした。

本園にとっても、来園された先生方から、違った視点からご意見をいただいたり、一緒に悩みを共有したりするこの時間にとっても価値を感じています。そしてなにより、この研究会を通して、改めて子供たちのすごさに気付いたり、新たな発見があったりとわくわくする時間でもあります。

保育の質向上のために何ができるのか、社会に開かれた幼稚園として何ができるのか、一つ一つ模索しながら、これからもいろいろな形たくさんの先生方と子供の姿を核に語り合い、学びを共に深めていきたいと思っています。

